第 55 回北海道学生陸上競技選手権大会

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟規則、ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 札幌市厚別公園競技場使用上の注意

1) 当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。

2) 開門時間は**審判 6:00、開催協力校 7:00、一般入場 7:10** とする。

3) 朝のトラックを使用しての練習は、

1 日目：8:00 までとする。**8:45 よりハンマー投げを開始するため、トラックのホームストレート使用時間を 8:45 までとする。**

2 日目：8:45 までとする。ただし、8:00 頃よりゼロ・コントロールテストを実施するためゴール付近が通過できなくなるため留意すること。

4) 競技役員の人数の関係で両日ともに朝のフィールド種目の練習に関してはできないため留意すること。

5) 補助競技場の使用は二日目のみ可能とする。両日屋内走路および外周の黒チップは使用可能とする。外周を走る場合は、歩行者等に十分気をつけること。補助競技場の外周については禁止とはしないが、サッカーの試合で使われているため、主競技場の外周を優先して使うようにすること。

3. 点呼について

1) 競技者は**指定された時間までに**競技者係にて 1 次点呼（〇付け、またはシューズ検定）を行い、その後、各競技開始場所に直接集合すること。1 次点呼（〇付け）終了時刻・現地集合時刻は以下の通りとする。

男女 1500m については**現地集合を 1500m スタート地点で行う。**

800m 以下のトラック競技の決勝の 1 次点呼については、申し合わせ事項を参照すること。

	1 次点呼**終了**時刻	現地集合時間
トラック競技 (予選および 1500m 以上の決勝)	競技開始 40 分前	競技開始 20 分前
トラック競技 (800m 以内の決勝)	競技開始 60 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技（棒高跳を除く）	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
棒高跳	競技開始 70 分前	競技開始 60 分前

2) 1 次点呼（〇付け）のホワイトボードは**競技場中央エントランス**に設ける。

特に 100m が行われている際にはスタートの妨げにならないよう、大声での会話は控えること。

3) 男女 3000m より長い種目は、**シューズの厚さ検定と自身のレーンナンバーの書かれたビブスの配布**をもって 1 次点呼とする。その点呼も他種目同様**競技場中央エントランスにて行う**ため、注意すること。

その他の競技は、1 次点呼場所にて掲示されたスタートリストへの〇付けをもって 1 次点呼とする。

4) 指定された時間までに 1 次点呼（〇付け）を行わない、または指定された時間に競技開始場所にいなかった競技者は当該競技種目を棄権したものとみなし処理する。

5) 代理人による点呼は原則として認めない。

ただし、競技者が他の種目に出場中の場合のみ代理人による点呼を認める。その場合はその旨を競技者係にあらかじめ伝えておくこと。

6) リレー種目は、オーダー用紙（本部受付に用意）に走順・ナンバー・名前を記入し、1 次点呼（○付け）終了時刻の 1 時間前までに競技者係に提出すること。リレーメンバーの全員での点呼は行わず、オーダー提出後は競技開始の 20 分前までに各走者ごとに現地にて集合すること。
7) 棄権する場合は、1 次点呼の締め切り時刻までに競技者係まで申し出ること。

4. 棄権について

大会当日、やむなく棄権する場合は、1 次点呼終了時刻までに**競技者係（競技場中央エントランス）**にある棄権届に必要事項を記入し、**競技者係へ**提出すること。

5. アスリートビブスについて

1) 学連に登録した競技者は、各自の学連ビブスを使用する。2026 年度のものを使用すること。
学連ビブスは受付の際に配布するため、まだ受け取っていない場合は大学ごとに取りに来ること。
2) 腰ナンバー標識は、個人トラック種目出場者については右側につける。**400m 以下の種目出場者については両側につけることとする。**4×100mR については、第 4 走者のみ両側につける。4×400mR については第 2・第 3・第 4 走者が両側につける。
3) 3000m 以上の競技に出場する選手は、1 次点呼の際に競技者係にて配布するアスリートビブスを体の前後につける。枚数に限りがあるため各日必ず返却すること。
4) 本大会では腰ナンバー標識の貸し出しを行わない。各校または各自が用意した腰ナンバー標識を使用すること。

6. シューズについて

1) 各競技者は日本陸上競技連盟競技規則 TR 5 に基づいたシューズを着用すること。
2) WA が作成した認証済みシューズリスト（https://certcheck.worldathletics.org/FullList）に基づき、使用の可否を判断する。ただし、リストに不掲載の靴については競技者係で計測の上競技規則を満たしているかの判断を行う。
3) 3000m 以上の種目に参加する競技者は**全員必ずレースで使用するシューズを 1 次点呼場所に持参しシューズの厚さ検定を受けること。**1 次点呼を兼ねているため、検定を受けなかった 場合は棄権として処理されるので注意すること。
4) サークルから行われる投てき種目(砲丸投、円盤投、ハンマー投)においては、任意のシューズを着用することを認める。

7. 競技の抽選・番組編成について

1) トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はアスリートランキング記載の順による。
2) 決勝の組み合わせ、およびレーン順は主催者が抽選する。
3) 事前棄権者が多数の場合など、予選ラウンドが行われなくなった競技については、選手の最高記録を考慮して決勝ラウンドの番組編成を行う。
4) 本大会は男子の 100m、200m、800m において A・B 決勝を行う。
予選はタイムレースで行い A 決勝は予選の上位 8 名、B 決勝は予選の 9～16 番目を対象として行い、表彰は A 決勝の上位 3 名を対象とする。

8. 用器具について

1) 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
ただし､投擲物は 1 次点呼終了時刻 1 時間前までに用器具庫で各々検査を受けて許可されたものに限り、個人所有のものを使用することができる。この投擲物は、他の競技者も使用できる。
（日本陸上競技連盟規則 TR 32.2）

2) 1）の投擲物は、日本陸連検定品または WA 承認品の投擲物のみ使用できる（日本陸上競技連盟規則 TR 32.2)。

3) 滑り止め（炭酸マグネシウム）は､主催者側では用意しない｡必要に応じて各個人が個別に持参すること。

9. トラック競技について

1) すべて写真判定とするが、万一、機器が故障し復旧しない場合は、手動計時に切り替えて継続する。

2) 次の種目は、競技進行に遅れを生じさせる恐れがある場合のみ、次の条件で打ち切ることがある。制限時間は以下のとおりとする。

男子　3000mSC	15 分 00 秒	女子　3000mSC	18 分 00 秒
男子　5000m	18 分 00 秒	女子　5000m	22 分 00 秒
男子　10000m	40 分 00 秒	女子　10000m	45 分 00 秒
男子　10000mW	70 分 00 秒	女子　10000mW	70 分 00 秒

3) 男女 100m、男女 200m、男子 110mH、女子 100mH に関しては、一次点呼終了時刻の 30 分前にバックストレートフィニッシュにするかどうか決定し、アナウンスにて報告する。

10. フィールド競技について

1) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。

2) 跳躍競技でのバーの上げ方は下記のとおりとするが、状況により変更することもあり得る。

	練習	試技
男子　走高跳	1m55、1m80	1m60 から 5cm、1m90 から 3cm
女子　走高跳	1m40、1m50	1m40 から 5cm、1m50 から 3cm
男子　棒高跳	2m80、4m00	3m00 から 20cm、3m80 から 10cm
女子　棒高跳	2m50、3m00	2m50 から 10cm
十種　走高跳	1m35、1m60	1m40 から 10cm、1m60 から 5cm 1m75cm から 3cm
十種　棒高跳	2m30、3m20	2m30 から 30cm、3m20 から 20cm 3m60 から 10cm
七種　走高跳	1m20、1m40	1m25 から 5cm、1m40 から 3cm

3) 三段跳の踏切板は、男子は砂場から 11m、女子は砂場から 9m の位置に設置する。なお、この条件については状況により変更する場合もある。

4) 円滑な競技進行のため、試技を行う際には制限時間を遵守すること。

5) フィールド競技の競技場所に近接したスタンドにコーチングエリアを設ける。当該種目に出場している競技者とのコミュニケーションはコーチングエリアから行うこと。

6) 実施ピットについてはタイムテーブルを確認すること。

11. 助力について

1) 競技者への助力については、日本陸上競技連盟規則 TR6 に則り規制される。これに抵触する場合は、審判長から注意・警告を行う。
2) 是正されない場合は、種目から除外される場合もある。

12. 抗議について

1) 競技進行中に起きた競技者の行為、または競技成績に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表（アナウンス）されてから 30 分以内（同一日に次のラウンドが行われる競技では、その結果が正式に発表されてから 15 分以内）に、総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなされる。
（日本陸上競技連盟競技規則 TR 8）
2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議する場合は抗議申立書と**預託金 20,000 円**を添えて上訴する。この預託金は抗議が受け入れられなかった場合は没収される。
3) この間の事務処理は総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する。

13. 撮影について

1）競技者（選手）がカメラで撮影されることによって嫌悪や不安に感じると思われる場所からの撮影は禁止する。また、撮影をしている場所によっては不審と判断された場合、競技役員が注意・指導、撮影内容の確認をする場合がある。
2）参加者による撮影に関しては、
①所属団体がわかる服装をしているもの（学生に限る）
②団体受付にてまとめて団体代表者に渡す「撮影許可証」を首から下げているもの
のどちらかの場合のみ許可する。学生の保護者や関係者などに関しては、関係団体より撮影許可証を借りること。

14. 表彰について

1) 各種目第 3 位までの入賞者を表彰するので、該当者は競技終了後にアナウンスがかかり次第、表彰席前(競技場中央エントランス)に集合すること。

15. 応援について

集団での声出し応援を可能とする。ただし、以下の事項を遵守すること。

1) 集団での応援については、周囲の方に配慮し、迷惑とならないように配慮すること。
2) トラック種目のスタート前はいかなる状況でも声出しをやめること。
3) 役員の指示にはいかなる場合でも必ず従うこと。
4) たいこなどの鳴り物は使用しないこと。

16. その他

1) 競技者の衣類の管理は、すべて各自で行うこと。役員・補助員による運搬は行わない。
2) 盗難・紛失について、主催者で受領した物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない。なお、主催者で受領した物品等は大会本部で管理する。
3) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。ただし、2026 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
4) 正面駐車場は競技役員など駐車券をお持ちの方以外は基本的に駐車できない。その他の選手、観客で車でご来場の場合は、**第 1 駐車場（両日）、第 2 駐車場（2 日目のみ）**を利用していただく。駐車場が埋まった場合は近隣の駐車場に止めていただくが駐車料金は各自の負担とする。大型バス・棒高跳のポールの輸送に必要な車両については正面駐車場の奥、第 2 曲走路付近の駐車を許可する。
5) 横断幕の設置やのぼりの設置に関して、特に制約は設けないが常識の範囲内で周囲に迷惑のかからぬよう掲出すること。
6) 大会期間中に出たゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
7) 不審者・不審物等を発見したら、大会本部まで連絡すること。
8) その他、不明な点は大会本部まで問い合わせること。

第 55 回北海道学生陸上競技選手権大会

申し合わせ事項

○　負傷による棄権および繰り上げについて

1. 予選等において、競技者が負傷等により次ラウンドへの出場が困難となった場合、**医務担当者により明らかな負傷が確認された場合に限り、次ラウンドの棄権を認める。**
2. 前ラウンド終了後、決勝進出者を正式に決定し、アナウンス、オープンチャットにて周知する。その後、**一次点呼の際に、決勝進出者および繰り上げ候補者を招集し、決勝への出場意思を確認する。この一次点呼は競技開始 1 時間前までに実施するので余裕をもって集合すること。**（一次招集は、他種目同様に中央エントランスにて競技者係が行う。）
3. **決勝が二組(AB 決勝)**の場合は、**決勝進出者 16 名＋繰り上げ候補者 8 名の合計 24 名**を、**決勝が一組**の場合は、**決勝進出者 8 名＋繰り上げ候補者 8 名の合計 16 名**を招集する。
   （ただし、選手本人がどうしても競技開始 1 時間前までに 1 次招集が間に合わない場合は代理を可能とする。）
4. 招集した競技者の名簿を用意し、決勝進出者となる上位 16 名または 8 名については、決勝への出場意思を確認するため、所定の欄に〇を付ける。決勝進出者に次ぐ 8 名の競技者については、決勝進出者に欠場者が生じた場合に繰り上げで決勝に出場する意思があるかを確認し、出場を希望する場合は所定の欄に〇を付ける。
5. 繰り上げによる出場者が決定した場合は、番組編成等の状況を確認のうえ、速やかに競技者および関係者へ周知する。また。アスリートランキングの情報も更新する。
6. 本申し合わせ事項は、**800m 以下のトラック種目を対象として運用する。**
7. 本事項については、競技運営上の状況等により、主催者が必要と判断した場合には、その都度対応を協議する。